

夏場が増える脳梗塞、予防から発症直後の治療まで  
患者本位の姿勢で「血管内治療」に取り組む。

高血圧、脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病との因果関係も深い脳血管障害。現在、日本人の死因の第四位<sup>(※1)</sup>、介護が必要になったおもな原因の第二位<sup>(※2)</sup>といわれ、昨今の欧米化した食生活、超高齢化社会などを考慮すると今後、患者数はさらに増加すると予測されている。そんななか、脳血管障害の治療法として注目されているのが血管内治療。現在、当院の脳神経外科で、カテーテルを用いた脳血管内治療や脳卒中のリハビリテーションを中心に取り組んでいる半田医師は、昨今の血管内治療の現況をこう説明する。

「脳血管障害は虚血性（脳梗塞など）と出血性（クモ膜下出血、脳出血など）に分けられます。そのなかでも症例の多い脳梗塞の血管内治療は、発症直後に行なう血行

再建術と脳梗塞を予防するための頸動脈ステント留置術、また、脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血には脳動脈コイル塞栓術などがあります。カテーテルは脚の付け根の動脈か、肘の動脈から入れ、脳梗塞に対する治療は通常、局所麻酔で行ないます。手術時間は個人差がありますが、約一〜二時間。痛みがより少なく、入院期間が短いのが特徴です」と、近年器具の進化により、さらに精度が高まったといわれる血管内治療のメリットをそう指摘する。

一分一秒でも早く。

脳血管障害治療は時間が命。

当院では脳梗塞の一因とされる頸動脈狭窄症やその他の原因を事前に探るために、造影CTやMRI、心臓超音波、

長時間心電図などを駆使した検査が行なわれている。『健康センター』の脳ドックでは、3テスラMR装置による脳と脳血管の画像診断、脳卒中に関係する複合検査を行ない、専門の医師が総合的に判断し、病気の発見・治療に努めている。

「とにかく異変を感じたら一刻も早く受診してください。脳血管障害の治療は『時間が命』、一分一秒でも早く対処することが大切です」と半田医師。加えて「血管内治療にもメリット、デメリットがあります。それだけに患者さんには、治療法について本人が納得いくまで説明し、理解していただくよう努めています」と続けた。これから迎える夏場は、湿気や暑さで大量の汗をかいたため脱水症状になりやすく、脱水症状が起きると血液が粘度を増し、血栓が起きやすくなるとのこと。起床時や外出前、運動中、入浴の前後、就寝前などは意識して水分を摂ることを勧めているそう。

最後に、「脳血管障害は、発症前の予防が大切です。体調がよい時にこそ脳ドックや人間ドックを受けていただきたい」と健診の重要性を強調する半田医師。予防から治療まで、当院の一貫した取り組みが今後も期待されている。

お問合せ 岡山旭東病院  
☎086・276・3231

出典元 ※1.厚生労働省第7表死亡数・死亡率（人口10万対）、性・年齢死因順位別より ※2.国民生活基礎調査（2019年）厚生労働省 IV 介護の状況より

## NEWS

## ▶ YouTubeチャンネル 登録者1000人突破!!



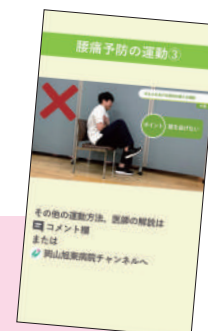
当院YouTubeチャンネルでは、転倒予防を中心に運動や体の健康情報を配信しています。毎月第3火曜日に更新しており、このたびチャンネル登録者が1000人を突破しました。この4月からは、YouTubeショート動画機能を活用して1分程度の運動を紹介しています。気軽に閲覧しながら、自分に必要な筋肉や改善したい症状に合った運動を継続しましょう。

今後の  
予定

- ・首（ストレートネック）
- ・靴選びのコツ
- ・脳卒中
- ・家の中の環境整備
- ・尿漏れ

ぜひチャンネル登録  
してみてください!

岡山旭東病院  
YouTubeチャンネル▶





No.118

おとな、暮らし、ときどきプレミアム

2022

7-8月号

850円  
(本体773円)

# オセラ

五感で愉しむ、  
涼を探しに。

心躍る、手土産・  
お取り寄せ手帖。

2022年行くべき注目店。

心地よく、暮らしよく

まちみち案内

鳥取県・中部エリア

倉吉・三朝・湯梨浜・琴浦・北栄

とっておきを探しに。／Doctor's Eye